

令和8年度 中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会 議事要旨

日 付：令和8年7月29日（水）13：30～17：00

場 所：ウインクあいち 10階1001号室

出席者：松尾委員長、小川委員、國枝委員、高木委員、豊田委員、松本委員
各部会構成員

- 次 第：
1. 開会
 2. 挨拶
 3. 議事
 - 1) ダム事業費等監理委員会
 - 2) ダム事業費等監理部会
 - (1) 新丸山ダム建設事業部会
 - (2) 設楽ダム建設事業部会
 - (3) 天竜川ダム再編事業部会
 4. 議事要旨の確認

1) ダム事業費等監理委員会

いただいた意見：

- 近年の物価上昇による各ダムの事業費への影響について、よりわかりやすい表現となるよう工夫されたい。

2) ダム事業費等監理部会

いただいた意見：

【全事業共通】

- 事業全体としてしっかり工程管理を行う必要があるため、前倒しを行う際はクリティカルパスを考慮して進めていただきたい。
- 計画変更後の事業費増減については、過年度分が何を指すのか説明を丁寧に行っていただきたい。
- コスト縮減や工期短縮策については、検討中の具体的な数値とともに、実際の縮減効果についてもわかった段階でご説明いただきたい。

【新丸山ダム建設事業部会】

- 工事車両の通行について、地域の方に対して丁寧な説明を行い、地域の要望と事業進捗等さまざまな要因のバランスをとりながら事業を進められたい。
- 令和3年8月出水について、丸山ダムの洪水調節効果と新丸山ダムが完成した場合の洪水調節効果それぞれを、一般の方にもわかりやすいような説明となるよう工夫されたい。

【設楽ダム建設事業部会】

- 工事着手してから判明する純増が多いが、しっかりと現地調査を実施してから工事着手されたい。
- 過年度の純増が大きいため、当該年度でなくても主要内容については説明されたい。

【天竜川ダム再編事業部会】

- 地域との連携や広報活動については、その効果の把握・検証に努めるとともに、得られた知見の横展開を図られたい。
- 長期にわたる事業特性を活かし、地域振興や担い手確保への波及効果も意識した事業推進に努められたい。
- 用地取得の遅れが、全体工期の遅れに繋がらないように努められたい。

主な質疑

※主な質疑は後日記載を予定しております。

以 上